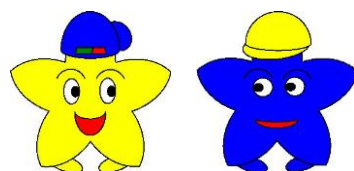


基本理念 「愛情と信頼」「研鑽と結束」

忠別川



東光小学校だより
令和2年1月31日
NO.10

「挨拶に込められた思い」

校長 西 分 健 二

私には弟がおり、子どもの頃は喧嘩しないようによく同じおもちゃを買ってもらっていました。しかし数日すると、弟のは調子よく動いているのに、私のはバラバラで、もう元に戻せなくなっていました。「なぜこんな動きをするのだろう」「なぜこんな音が出るのだろう」などなど、その仕組みが気になって仕方がなかったのです。そんな私がこだわって子どもたちに伝えてきているのは挨拶の大切さとそこに込められた思いです。

2学期の終業式には、「こんにちわ」ではなく「こんにちは」なのは、その後に言葉が続くことであり、12月だけ使われる挨拶「よいお年を」、1月に使われる挨拶「明けましておめでとうございます」も同じであることを伝えました。下校する廊下から「よいお年を～」と聞こえてきたときは、話してよかったと思いました。



そこで、始業式には、「おめでとう」と言えない方々もいることを伝えました。文字数の関係で詳細はお伝えできませんので、おめでとうと言えない理由を、ぜひ子どもたちに聞いてみてください。

さて、今年の干支は「庚子」。大きなチャンス的一年になると言われています。素直で明るい東光小の子どもたち一人一人がチャンスを掴めるよう、支えてまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様には、今後ともご支援くださいますようお願い申し上げ、念頭のご挨拶といたします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

スキー学習

1年生は学校の築山で、そして2年生以上は築山やサンタプレゼントパークスキー場・キャンモアスキー場に行ってスキー学習を行います。

今年度初めてスキー場に行く2年生は、学校の築山での練習にも意欲的でした。技術面だけではなく、先生の話静静地に聞く、1列に並んで登ったり滑ったりする等の練習にも余念がありません。

1年生は、初めてのスキー授業でした。スキー靴を一人ではく練習、道具を一人を出して装着し、一人で片付ける等、道具の扱いを自分の力でできるように練習しました。また、カニ歩きで登ったり、止まったりすることも猛練習中です。曲がったり止まったりはスキー場では必須なので、来年度のグレンデデビューに向けてしっかり練習しています。

